

授業科目名	義肢・装具学		授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	開発 基文、前谷 一旗		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>義肢装具に関する基礎的知識と製作および適合技術を学習し、作業療法での実践を理解する。義肢装具の基本構造、効果などを理解する。義肢装具学は、リハビリテーションの1つの大きな柱であり、義肢装具を用いることで直接的・間接的に対象者に働きかけることができる手段の一つである。作業療法の一つの方略として、学び理解することを目指す。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義肢装具の基本的な構造が分かる ・基本的な適合の概略を説明できる ・作業療法場面での実際を理解できる ・上肢切断者のADLを理解できる ・スプリントの製作・適合課程について理解できる 					
授業回数	授業内容					
第 1 回	義肢装具学総論 教科書P1～6 義手の歴史・義手総論 教科書P7～P38				〔開発〕	
第 2 回	義足総論、最近の練習用仮義肢の傾向・療養費関連 P39～P61				〔開発〕	
第 3 回	義手を学ぶ上で必要な医学的知識 P62～P78				〔開発〕	
第 4 回	前腕切断と義手 教科書P78～94				〔開発〕	
第 5 回	上腕切断と義手 教科書P95～P106				〔開発〕	
第 6 回	その他の上肢切断と義手 教科書P106～P120				〔開発〕	
第 7 回	義手のチェックアウト 下肢切断に対する作業療法 教科書P 121～160				〔開発〕	
第 8 回	切断者の評価【演習】				〔開発〕	
第 9 回	装具総論				〔前谷〕	
第 10 回	上肢装具各論				〔前谷〕	
第 11 回	適応疾患例①				〔前谷〕	
第 12 回	適応疾患例②				〔前谷〕	
第 13 回	適応疾患例③				〔前谷〕	
第 14 回	適応疾患例④				〔前谷〕	
第 15 回	適応疾患例⑤				〔前谷〕	
評価方法	定期試験（60％）、小テスト（20％）、演習実技・レポート（20％）					
教科書 参考図書	〔教科書〕 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 義肢装具学					
	〔参考図書〕 義肢装具のチェックポイント 医学書院					
履修上の 留意点	解剖学、運動学、整形外科学、物理学の知識が不可欠な科目です。特殊な部品や形状の装具など、覚えにくい名称も多いですが、基本的な医学知識を元に理解することが求められます。					
メッセージ	作製上のポイントや、力学的特性など理解すべき点は多岐にわたりますが、しっかりと理解できるように講義に臨んでください。					